

あおば

第39号

発行: おぐに荘保護者会
新潟県長岡市小国町新町 852-4
救護施設 おぐに荘
TEL 0258-95-3400
FAX 0258-95-3451
ホームページ <http://www.kashikari-fukushi.com>



保護者会の皆様へ

保護者会会長 伊丹 文男

今年、春先からの新型コロナウイルスのため、四月の総会と六月の協力活動を中止にさせていただきました。それに伴い総会資料を郵送し、議案の承認を皆様からいただきました。ご協力有難うございました。

私達は普段の生活を送る中で、お祭りやスポーツ、コンサート等、多数の方が集まり、お互いに触れ合う場を持つことによる楽しみで安心とやる気がでてきます。おぐに荘保護者会の活動も、おぐに荘に保護者会の皆様が集まり、入所者の皆様や職員の皆様と顔を合わせ親睦をはかるものです。おぐに荘の活動にはいろいろありますが、中でも保護者会の活動は入所者の皆様にとっては一番身近で、多数の方々が集まりますので大変楽しみにしています。活動日におぐに荘の廊下を歩いていると入所者の皆様がに

こやかにあいさつをしてくれたりして、何か普段と違い忙しそうに動いている姿が印象的です。普段と違う楽しみができ、おぐに荘も活気がでていたようです。そんな活動が新型コロナウイルスのため、現在実施することができません。

また、春先からの新型コロナウイルスの拡大により、現在おぐに荘では職員の皆様から感染防止に大変注意をしておりますが、今後ともよろしくお願いたします。

さて、十一月のふれあいまつりには新型コロナウイルスが終息し実施できることを願っております。保護者の皆様も健康には気をつけられてお過ごしください。そして十一月のふれあいまつりには、また顔を合わせましょう。

令和2年7月15日発行

あおば

(8)

ボランティア 順不同

- のぎくの会様
- 小国町老人クラブ様
- ラーメン親父の会様
- 原田英昌様
- 船橋英昌会様
- 英昌会小国支部様
- 小国秀踊会様
- 民謡教室様
- 青柳 閑様 (手芸教室講師)
- 橘 会様 (生花教室講師)
- 植木 幸子様 (踊り教室講師)
- 中沢 裕子様 (踊り教室講師)
- 稲波 恵子様 (かきかた教室講師)
- 相波 純子様 (けんこつ体操講師)
- 荒井 友香様 (絵画教室講師)
- 山崎 豊土様・愛子様 (笑いと健康教室講師)
- 田中 一美様 (ダンス教室講師)
- ゆうあいグループ様
- ホーム喫茶「さくら」様
- 小国町理容組合様
- 小国中学校様
- 小国小学校様

皆様の善意に感謝します

- 新町盆踊り実行委員会様
- 盆踊りボランティア様 (運営補助)
- リ ん様 (よさこいグループ)
- 夜 桜 會様
- ウイラメアフラ様
- 入沢 和文様

寄贈者一覧

- 小国町商工会様
- 原田 英昌様
- 辺見 市郎様
- 伴 武雄様



令和元年度利用者動向

- 退所者 男性：0名 女性4名 合計4名
- 新入所者 男性：2名 女性4名 合計6名

ボランティア大募集

利用者の話し相手、草取り、施設整備等、慰問も大歓迎です!

ボランティアに興味のある方は是非連絡してください。
連絡先 救護施設おぐに荘
TEL 0258-95-3400 (担当: 相澤、佐藤)

編集後記

編集に携わり、おぐに荘の利用者は多くの皆様からご協力、ご支援をいただき、素晴らしい時間を過ごしていると強く感じました。誠にありがとうございます。今後とも末永くお付き合いさせていただきたく存じます。よろしくお願申し上げます。

苦情相談について

救護施設おぐに荘では提供する福祉サービスについて、随時苦情相談を受け付けています。ご意見、ご要望、苦情等ありましたら遠慮なく苦情受け付け担当者、第三者委員にご相談ください。誠意をもって話し合いを行い解決、改善に努めます。

- 苦情解決担当者 遠藤 和哉 (おぐに荘 園長)
- 苦情受付担当者 松井 夏子 (おぐに荘 次長)
- 第三者委員
小野塚正之 (新潟県柏崎市巾浜1丁目8番 29号)
宮田知津子 (新潟県柏崎市学校町4番 75号)
砂塚 一美 (新潟県柏崎市石曾根 276)

●苦情相談の申し出
苦情担当者、第三者委員に直接お話し下さい。また、電話、書面、面談でも受け付けます。
電話 0258-95-3400
苦情受付窓口は、おぐに荘事務室に設置しています。苦情の受付に際し、プライバシーについては十分に配慮いたします。

保護者会の活動



総会・花見会

令和元年度の保護者会総会は44名のご家族より参加していただきました。食堂で保護者会総会を行った後、体育館にて花見会会食を行いました。利用者のご家族と一緒に弁当をいただき、利用者の明るい笑顔が溢れていました。余興では、利用者がハッピー体操や大花火音頭、カラオケを披露して皆で楽しみ、良い交流の場を持つことができました。



協力活動

保護者会協力活動は、ご家族と利用者が触れ合える機会、利用者も毎年心待ちにしています。令和元年度は20家族、25名のご家族が来荘されて利用者、職員と一緒に食堂、廊下の窓拭きや車椅子の掃除、花壇周辺の草取りと花植えなどを行いました。和気あいあいと作業に励んだ利用者からは「今日はうちの人が来てくれたよ、一緒に花植えなんだ」「車椅子、綺麗になったよ」等の声が聞かれ、楽しんで活動することが出来ました。



ふれあいまつり

11月9日に毎年恒例のふれあいまつりが行われました。豚汁、うどん、アイスクリーム、ケーキなど、様々な美味しい料理が並び、会食やカラオケを楽しみながらご家族と一緒に過ごすことができました。ご家族が来られなかった利用者も他の利用者や職員と一緒に楽しみました。利用者の手芸や書道の作品も飾り「これ私のだよ」などと嬉しそうに来荘者に紹介する姿が見られました。



理事長挨拶



理事長
高橋 敏郎

『負けないぞ』

季節は春から夏へと向かい、青空と新緑がまぶしい毎日です。景色や空気は何事も無かったように澄み切っているのですが、春先からの新型コロナウイルスの対応は一変してしまいました。見えない相手と戦うのは難儀でつらく長い日々です。

おぐに荘でも、施設内のこまめな消毒、マスクの着用、うがい、手指消毒など、もしものことを考えた対応をしております。対応する職員も大変ですが、利用者の皆さんも行動を制限せざるを得ない状況で、ストレスが発生しているかもしれません。ご家族との面会や外出の自粛、楽しみな行事の中止など、待ち望んでいた出来事が縮小して、



やきもきしていられることと思います。この新しいウイルスは、潜伏期間が長く油断できないこと、一気にクラスター感染してしまうことなど、容易ならぬ存在です。法人でも厚生労働省や新潟県の指導に基づきながら、なお一層の対策を取っています。職員はもちろんご家族にも毎日検温をお願いし、発熱者がいる場合は出勤を停止していただきます。また、県外への出張は中止とし県内の研修、会議の出席なども自粛しています。

保護者会の皆さまも、各地域において同じような対応をされていることと思いますが、ここは新型コロナウイルスに負けないで、じっと我慢の時です。この危機を乗り越えるまで、みんなで耐えていきましょう。

自然は豊かで眼の保養にもなります。田んぼ道を歩けば風は爽やかです。道脇の花はきれいに咲き誇ります。自然は素晴らしいです。この機会に視線を近くにおいて、ありふれた景色や毎日の生活の上にも見過ごしそんな小さな幸せがあることを思い出しましょう。

利用者の皆さまと職員一同が、笑顔で明るく過ごすことの出来る日常が必ず来ることを願って、業務に励んでまいります。

施設長挨拶



施設長
遠藤 和哉

あらたな気持ちで

日頃から保護者の皆様、関係機関の皆様、地域の皆様には、施設運営に当たりご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

令和二年四月一日より、おぐに荘施設長に就任いたしました遠藤和哉と申します。

平成二十九年四月から、おぐに荘勤務となり、今年で四年目になります。施設長という職責の重さに戸惑いもありますが、自分の役割をしっかりと見据えながら、利用者様のよりよい生活の実現と、より地域に根差した施設となれるように取り組んでいきたいと思っております。

さて、新型コロナウイルス感染症に関する施設の対応についてですが、四月から九月までの行事等について検討した結果、「一泊・日帰り旅行」や「盆踊り」等を中止することにしました。利用者の皆様には、説明の機会を持ち、了承してもらいました。その他、「食のイベント」や、「お

やつバイキング」等の取り組みについては、適切に換気を行い、三密を避ける等の配慮を十分に行った上で実施することにいたしました。

また、利用者様から「自分の花壇を持ちたい」という希望がありましたので、自分の育てたい花や野菜の苗を購入して育てることができるよう、花壇の整備を行いました。

利用者様一人ひとりの最近の様子につきましては、新年度の担当職員から連絡させてもらいましたが、「もっと詳しく聞きたい」、「利用者と話したい」等の希望がありましたら、連絡をいただければと思っています。

今後の対応につきましては、感染症流行の状況をみながら判断し、改めてご連絡申し上げます。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。





おぐに荘の地域貢献活動



さくらの会



令和元年8月26日と11月25日に、おぐにコミュニティセンター（だんだん）にて行われた「地域デイ卒業生のつどい・さくらの会」の様子です。おぐに荘では、地域貢献活動の一環として「地域デイ卒業生のつどい・さくらの会」のレク活動のお手伝いをさせていただいています。フラダンスや風船パレーを行い、参加者の皆様と楽しいひとときを過ごさせていただきました。一緒に参加された皆様から、「とても楽しかった」「いい運動になった！」等の言葉をいただきました。これからも、地域の皆様喜んでくださる活動を行っていききたいと思います。

7月と10月の2回、おぐに荘周辺道路で落ち葉掃きや側溝の泥あげ作業を行いました。自然豊かで沢山の木々に囲まれた道には、落ち葉も沢山積もっていました。利用者も時々散歩を楽しむことがある道路。施設の仲間や地域の皆様に喜んで貰えるよう、汗をかきながら協力して清掃しました。綺麗になった道路を歩いて施設に戻る時には、達成感で一杯でした。「頑張ってた良かった」「またやろうね」という嬉しそうな声も聞かれました。

清掃活動



かかしまつり



おぐに荘では毎年8月に、小国地域で開催される「おぐにかかしまつり」に手作りのかかしを出しています。令和元年度は柏崎刈羽福祉事業協会が創立60周年を迎えた事から、お祝いの「法人60周年記念かかし」として作成、展示させていただきました。ちなみに、テーマは『カラスよけの反射板とグリーンカーテンの妖精』です。残念ながら大賞を獲ることは出来ませんでしたが、かかしの作成を手伝ってくださった利用者、かかしまつりを見学された利用者から「輝いていた」「良かった」と、褒め言葉の特別賞を頂きました。



毎年恒例の地域開放事業 原田英昌ショーが10月に開催され、多くの地域の皆様にも足を運んでいただきました。出演者の皆様に民謡、三味線、笛、踊りなどを披露していただき、圧巻のパフォーマンスと楽しいトークに観客大満足のイベントとなりました。利用者も、バカ面や「サザエさん」の踊りを披露し、とても楽しく、和やかな雰囲気の中、時間があっという間に過ぎて行きました。

原田英昌 ショー



新任

職員紹介

今年度は6名の職員がおぐに荘のスタッフに加わりました。
5つの質問に答えてもらいます！



アンケート項目

- ①好きな言葉は？
- ②自分にとっての癒やしは？
- ③自分を動物に例えたら？
- ④プライベートの目標は？
- ⑤生まれ変わったら何になりたい？



次長 松井夏子

- ① ありがとう！
- ② 自然（うぐいすの鳴き声）
- ③ 犬
- ④ 断捨離
- ⑤ 真珠



生活指導員 水落香織

- ① 焦らず、慌てず、諦めず
- ② 周りの音を聞きながら、ぼーっとすること。
- ③ コアラ
- ④ 生涯学び続ける。
- ⑤ もう一回人間になりたい。



介護員 猪又智弥

- ① 微に入り細を穿つ
- ② YouTubeで動画を見ること。
- ③ コツメカワウン
- ④ ゲームのイベントでランキング上位を目指す。
- ⑤ 生まれ変わりがたくないです。



介護員 菅沼克之

- ① すぐやれ、早やれ、どんとやれ
- ② かけがえのない至福の時
- ③ ゾウ
- ④ 富士山登頂
- ⑤ 仏



嘱託看護師 鈴木直美

- ① おごらず、人と比べず、面白がって平気で生きれば良い
- ② ミスターチルドレンのライブやフェスに行くこと。
- ③ ネコ
- ④ パソコンを使いこなせるようになりたい。
- ⑤ メイキャップアーティスト



パート調理員 藤井悦子

- ① ありがとう
- ② 山歩き、温泉、花、音楽
- ③ 山羊？ 山羊座生まれ。
- ④ 健康、体力の維持
- ⑤ になりたいものは、ありません。

転出職員

- ・春川 幸博(主任生活指導員)
- ・深井 重人(介護員)

退職職員

- ・山崎美千代(園長)
- ・吉川 文子(調理員)
- ・中村 哲(準職介護員)
- ・金子真由美(看護師)
- ・久保田勇輝(介護員)
- ・池島 博道(宿直代行員)

社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会

経営理念 私たちは、地域の福祉事業の主たる担い手として、利用者の尊厳を守り、万全の福祉サービスを提供するとともに健全経営に努めます。

- 基本方針
- ① 入所者・利用者の人格と尊厳を守り、安心・安全な生活と良質なサービスの提供に努めます。
 - ② 透明性を確保し、健全経営に努めます。
 - ③ 福祉人材を育成し、働きやすく魅力ある職場づくりに努めます。
 - ④ 福祉のセーフティネットとしての役割を果たし、社会的弱者の支援に努めます。
 - ⑤ 福祉文化の創造を目指して地域・社会に貢献します。

施設見学説明会

おぐに荘では、多くの福祉関係者の皆さまに施設紹介をさせていただきたく、例年、当施設へお招きし『見学説明会』を実施しています。皆さまから直に足を運んで見ていただくことにより、理解を深めていただき、利用者対象になりそうな方がいた場合は声をかけていただくことで利用者確保へつなげていくことを目的としています。

また、おぐに荘では、正式入所としての受け入れの他、「緊急保護」や生活困窮者支援の一環としての「一時利用」も進めているところです。

支援機関の皆さまと更なる連携を深め、より地域に根ざした施設であるよう努めてまいります。

中越圏域の見学説明会 (R1.5.30)



当日は、精神科病院や相談支援機関の方々、総勢18名よりご参加いただきました。「次なる生活の場」としての候補としてイメージが掴めたとの感想をいただきました。



小国地域の見学説明会 (R2.1.30)



日頃、お世話になっている地元小国地域の方々。初年度ながらも、ありがたいことに14名の方からご来荘いただき、施設の近況を報告しました。利用対象となる方々のイメージも掴んでいただけたことと思います。

